

ビーキャス B-CAS カードの挿入

確認

- カードの説明書に記載の文面をよくお読みの上必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

B-CASカード(添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。

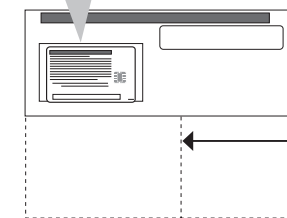


IC(集積回路)

B-CASカード番号

B-CASカードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

電話または Web でユーザー登録をしてください。(登録は無料です)



はがきがついている台紙の場合は、はがきでも登録できます。

B-CASカード取り扱い上の留意点

- ・折り曲げたり、変形させない。
- ・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- ・水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- ・IC(集積回路)部には手をふれない。
- ・分解加工は行わない。
- ・BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しない。(同梱のB-CASカードは地上デジタル専用です。)

●B-CASカードについてのお問い合わせは
(株)ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000250

B-CASカードの挿入

入れかた

- 1 エンジンを切り、ACCオフにする
- 2 B-CASカードを奥まで確実に挿入する

■ B-CASカードのテストをするときは
(☞ 35ページ「B-CASカードの番号などを見る」)

取り出しかた

- 1 エンジンを切り、ACCオフにする
- 2 本体を浮かせて、B-CASカードを下に押し、ツメにかからないように引き出す

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(☞ 35ページ)

お願い

カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせください。修理センターなどでカード交換を行った際発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

メニュー画面の操作と項目

画面で確認しながら設定や放送メールなどの情報を見ることができます。

メニュー 押す
●「メニュー画面」が表示されます。

押しして項目を選ぶ
●本書ではこの操作を▲▼◀▶で表記しています。

押す
●本書ではこの操作を(決定)で表記しています。

設定した項目は黄色表示
選択中の項目は黄色表示

1つ前の画面に戻る

設定内容に応じて▲▼◀▶で選択と(決定)を繰り返します。

メニュー画面

地上D 011 NHK総合・大阪

受信モード 自動切替 ワンセグ 地上D

プリセットモード ホーム おでかけ

おでかけモードプリセット 初期スキャン 再スキャン

システム設定 放送局一覧 信号切替 情報/メール

チャンネルを受信するモードの選択(☞ 26ページ)

視聴するモードを選択(☞ 25ページ)

おでかけモードでのスキャンを行う(☞ 24ページ)

B-CASカード番号、放送メール、ソフト、本機の情報などを表示、カードテストの実行(☞ 35、36ページ)

二重音声や字幕などを設定(☞ 33ページ)

現在登録されている地上デジタル放送の放送局を一覧で表示(☞ 34ページ)

オート放送局サーチを利用するための設定(☞ 27ページ)

独立データ放送を選局するための設定(☞ 27ページ)

移転などでの郵便番号変更(☞ 37ページ)

移転などでの地域変更(☞ 37ページ)

音声レベルを設定(☞ 33ページ)

ホームモードでのスキャンを行う(☞ 22ページ)

お買い上げ時の設定に戻す(☞ 37ページ)

確認

メニュー画面の操作と項目